

熊本子ども囲碁便り 73

2019.07.03

NPO法人熊本子ども囲碁普及会

電話：096-288-0005

HP：<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>

メール：kumamotokodomoigo@yahoo.co.jp

■ 宮本将伍くん 祐徳本因坊戦優勝！！

6月8日(土)～9日(日)で第68回祐徳本因坊戦が行われました。本大会は、九州や沖縄で勝ち抜いた代表者が集結し、祐徳本因坊の座を争う大会です。熊本からは小学生代表として宮本将伍くん（尾ノ上小6年）、中学生代表として廣末直大くん（帯山中3年）が参加しました。その結果、宮本くんは全勝で決勝に駒を進め、優勝という素晴らしい成績を収めました（廣末くんは決勝進出ならず）。これは事実上の **九州沖縄の小学生 No.1** という実績になります。

日頃から誰よりも真面目に囲碁と向き合う姿勢により得た栄光だと感じます。

熊本には宮本くんとしのぎを削る実力を持った小学生がまだまだいます。そう考えると熊本の囲碁界は、これからますます楽しみです。



優勝した宮本将伍君

宮本くんと関係者に今回の優勝についてコメントを頂いています。

小学生最後の祐徳本因坊戦で優勝することができたので、本当に嬉しかったです！！

将伍君のお父さん
日頃からご指導頂いている先生方に感謝申し上げます。

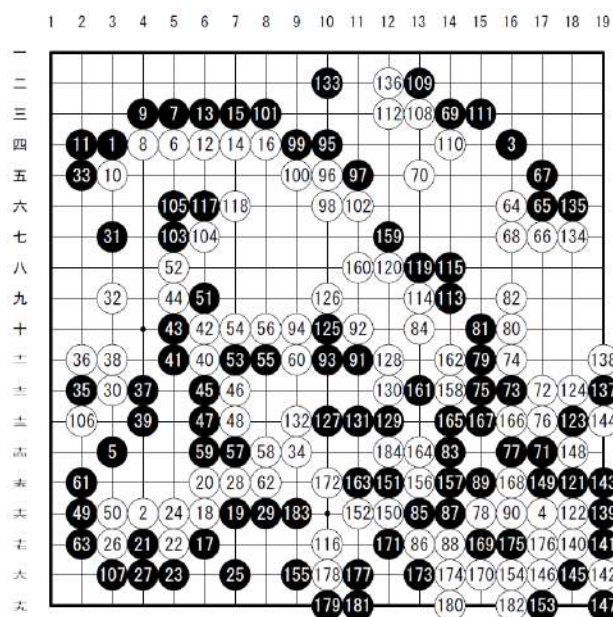
教室の先生 T
日頃の研鑽が実ったの優勝できましたね。おめでとう！
次のタイトルを目指して頑張ってください。

教室の先生 I
今年中に僕を越えてくれるかもしれません。とても楽しみです。

教室の友人 U
マジ、ハンパないっす！同じ熊本の子供として誇らしいです！！

教室の友人 K
将伍くんの成長が早すぎて何が何だかわかりません…。

謎のおっさん X
将伍くんが初級の頃 勝ったことあるから、実質わしも優勝♪



決勝戦の棋譜 黒：角優輝（福岡） 白：宮本将伍（熊本）

■ 内田直也さん 肥後本因坊防衛 名誉肥後本因坊に！！

6月2、9日第66期肥後本因坊戦（熊日主催）3番勝負が開催され、2局先勝した内田直也六段が挑戦者の上村晃弘六段を退け4期連続の肥後本因坊位に輝きました。しかも今回は通算7期という条件を満たし、名誉肥後本因坊となります。昨年獲得した名誉肥後碁聖と併せて史上初のダブルでの名誉位というレジェンド達成です。

内田直也さんは、熊本子ども囲碁普及会の監事をされており、これからどんどん囲碁の普及活動に力を入れてくださるとのことなので、強烈な追い風が吹いていると感じています。

■ ■ 第 16 回全国小中学校囲碁団体戦熊本県予選

■ ■ 第 29 回熊本子ども囲碁交流大会

団体戦代表

4月14日（日）グランメッセ熊本にて第16回全国小中学校囲碁団体戦熊本県予選と第29回熊本子ども囲碁交流大会が開催され、**団体戦に8チーム（24名）・交流大会に108名**が出場しました。代表チームと全勝者は以下の通りです。

＜全国小中学校囲碁団体戦熊本県代表＞

小学生の部：東町小学校



大将：上田 健心（5年）左

副将：吉田 達哉（5年）中

三将：奥村 親良（6年）右

中学生の部：帯山中学校



大将：廣末 直大（3年）左

副将：上村 愉唯（1年）中

三将：五師 貫良（1年）右

※代表の2校は7月28・29日に日本棋院東京本院で行われる全国大会に出場します。

※各大将戦の棋譜および解説は最後のページに掲載してあります。

＜交流大会 全勝者＞

上田光輝(人吉東小 3) 太田創磨(東町中 2)

王 翼(帯山小 4) 指田 權(附属小 4)

山田湧雅(国分小 4) 高山早士郎(広安小 1)

中島悠介(杉上小 3)

岡 俊昌(出水南小 5)

松尾啓佑(城北小 1)

蛇島俊輔(杉上小 4)

高田桂誠(附属小 1)

佐土原幸希(北部東小 4)

蛇島優衣(杉上小 2)



会場の様子



有段女子対決



もうすぐ初段対決

■ ■ 第40回 少年少女囲碁大会熊本県予選 ■ ■ 段級位認定戦

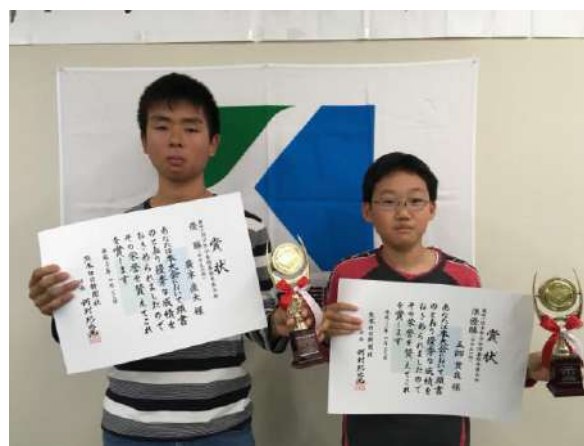
個人戦代表

4月28日（日）熊本日日新聞社にて第40回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会熊本県予選と段級位認定戦が開催され、県予選に8名・認定戦に112名が出場しました。代表者と全勝者は以下の通りです。

<少年少女囲碁大会熊本県代表>

小学生の部：優勝：栗山 莉一（砂取小6年）左
準優勝：宮本 将伍（尾ノ上小6年）右

中学生の部：優勝：廣末 直大（帯山中3年）左
準優勝：五師 賢良（帯山中1年）右



※代表の4名は7月30・31日に日本棋院東京本院で行われる全国大会に出場します。

<交流大会 全勝者>

上田健心(東町小5)	片山聖陽(日吉小4)	吉野 佑(飽田南小1)	王 翼(帯山小4)
指田 權(熊大附属小4)	松尾和輝(富合小5)	井上紘翔(託麻南小4)	高山水樹(広安小5)
井上結翔(託麻南小6)	浅川仁太郎(一新小2)	中川幸貴(画図小3)	田尻楓歩(画図小6)
藤喜皇徳(城東小3)	小峯みなみ(清水小2)		



会場の様子



13路で「実利」vs「厚み」



四隅は大事に



どちらが勝つのかヨセ勝負



それぞれの戦い

■ 第 7 回にんじんの里交流囲碁大会

3月24日（日）第7回菊陽町杉並木公園管理センターにて、にんじんの里交流囲碁大会が開催され、団体戦に22チーム（66人）個人戦に65人が参加しました。この大会は菊陽町囲碁振興会が主催し、菊陽町教育委員会の後援のもと開催されており、今回は微力ながら熊本子ども囲碁普及会からお手伝いさせて頂きました。

午前中に団体戦3局、午後に個人戦3局という充実した内容の大会であり、参加賞には菊陽町名産の美味しいニンジンを入賞賞品には新鮮な野菜をはじめとする食材やメダル等の記念品がたくさん贈られました。

回を重ねる度に子どもの参加も増えており、今回は県外からの参加もありました。団体戦では歳の差対局も多く見られ、集まった観戦者の顔にも微笑みが溢れ、なんとも言えない良い時間が流れていました。

子供もお年寄りも素敵な体験ができる大会だと思いますので、来年以降もずっと継続して頂きたいと願います。



■ ボンド杯チャンピオン戦報告

3月27、28日に京都聖護院にてボンド杯争奪第22回全日本こども囲碁チャンピオン戦が開催されました。京都は季節柄かなり賑やかで国際色豊かでした。

全国から48名の代表が参加し、熊本からは米田伊吹くんと廣末直大が出場しました。ボンド杯では参加者名簿だけではなく、顔写真まで掲載されるので名前と顔が覚えやすく、有難く感じました。

開会式が始まると、賑やかだった会場に一気に緊張感が走り、選手それぞれ瞑想したり、碁盤をじっと見つめる等集中力を上げる様子が印象的でした。



全国の強豪と戦う米田君とそれを見守る廣末君

私は会場内で応援しており、二人とも落ち着いて打っている様に思いました。結果米田君廣末君共に2勝3敗でしたが、出場選手にそれ程力の差はないと感じました。というのも、負けても僅差だったり解決策がすぐに分かっていたからです。これからも大会が続きますので、是非今回の経験を繋げて欲しいと感じました。

私も全国の幹事の方や保護者の方とお話しや情報交換ができたので大変勉強になりました。

廣末直大の母

■ ヒカルの碁スクール阿蘇

皆さんこんにちは。ヒカルの碁スクール阿蘇の藤崎幸次郎です。梅雨の時期と言うのに阿蘇でも晴れの日が続き、暑い毎日です。私が、大分から阿蘇に来て 8 年が経ちました。その間、大洪水、大噴火、大地震と次々災害に見舞われましたが、運良く無事に過ごして来られています。

震災前は、多くの小中学校、幼稚園、保育園と囲碁の楽しさを伝えに行かせてもらいましたが、震災以降は、阿蘇中学校 1 校だけになってしまいました。ただ回数はたくさん呼んで頂いています。今は、一年生 4 人と二年 5 人と三年生 2 人の 11 人で、月に 2、3 回囲碁を楽しんでいます。冬はスクールバスの影響で 1 回で一時間くらいですが、夏は二時間勉強しています。最近は、2、3 年生が 1 年生と打ち、残りの時間で、問題プリントをします。まだまだ面白さを伝えきれていなくて、自ら本を読んで勉強する子は残念ながらいません。そこで今回は、ヒカルの碁のアニメを見てもらい好評でした。

部員の棋力は、私に 13 路盤で九目のハンディ(助言付き)で皆良い勝負です。もっと死活をやったり、ネットで打ったりしてくれたら、直ぐに強くなると思うのですが、まだみんな部活の時間だけの様です。まあ、気長にボツボツとやって行きます。

今年度からは、部活が地元の有志の皆さんによって見る事になったので、私にも南阿蘇村から、お誘いがあり白水小学校と南阿蘇西小学校に行ってきました。今度は、久木野小学校に行く予定です所以楽しみです！

今、自宅では、通いの生徒さんが 4 名毎週土曜日に来てくれていて賑やかにやっています。通信教室の方は、18:00～21:00 の間 2 部別れて、一日 5～8 人、熊本、福岡、大阪の子供達と大人の方合わせて 20 人程が参加して下さっています。そんな事で、今期になって毎日忙しくしていますが、嬉しい悲鳴と言う事で、身体が動く間は、頑張りたいと思います。毎日子供達とたくさん打っているお陰で私も朝日アマの代表になる事が出来ました。皆さんも、あまり勝ち負けにこだわらず、負けた碁は敗因を考えたり、強い人に聞いたりして、失敗を繰り返さないように！また、トレーニングとして簡単な基本死活と基本手筋をたくさんやる様にして下さい。

通信教室で私と一緒に勉強している國松聡君は、最近調子が良く、ボンド杯小学生代表、熊日本因坊戦熊本地区予選代表、RKK 杯優勝と絶好調です。これも一重に彼が一生涯懸命碁の勉強に打ち込んできた成果だと思います。

皆さんも今まで以上に頑張ってください。きっと強くなって、たくさんの碁友達が出来、楽しい毎日になると思いますので、時間の許す限り碁に触れる時間を増やしてみてくださいね！(*^^)v

ヒカルの碁スクール阿蘇 藤崎幸次郎

■ 菊池高校で碁授業始まる！！

去る、3 月 15 日(金)菊池高校に招かれて碁仲間 5 人(内、2 人は菊池の方)で 2 時間頂き、碁の授業に行ってきました。今回は初めて、生徒さん達も全く碁の経験がないということから、1 時限目に「碁とはどういうゲームか」「碁の歴史」「碁のルール」「碁対局のマナー」「菊池出身の天竺の天才棋士赤星因徹」について講師の江藤さんから話して頂きました。2 時限目は 9 路盤で実践対局です。「お願いします」の挨拶の後、お互いにルールに則り、自由に楽しく打って頂きました。相手の石を取るとはどういうことか、どうしたら取れるか、どうしたら相手より多く陣取りが出来るか等々、真剣に考えて打っていました。校長先生も生徒と一緒に対局されるなど、対局中に、「あれ？やべえー」とか「やった！」といった声も聞かれて和気あいあいとした時間はあっという間に過ぎました。「今後は、生徒にアンケートを取るなどして、こういった形でやっていくのか検討し、その結果をお知らせしますので今後共、宜しくお願いします」とのことでした。菊池市では一昨年の 1 月に碁のタイトル戦の一つである棋聖戦が開催されたこともあり、また赤星因徹の出身地でもある菊池を碁の町として全国に発信して行こうとの機運もあり、今後が大いに楽しみです。帰りに七城町加恵にある赤星因徹の墓と赤星家ご先祖様の墓地にお参りをしました。

(注)「第 41 期棋聖戦第 2 局」については、碁便り No.60、「赤星因徹」については碁便り No.64、No.69 に寄稿させて頂いていますので、ご参考まで。

熊本子ども碁普及会監事 後藤 渉

■■ 鶴山淳志七段の本が出版されました

熊本県出身のトッププロ棋士鶴山淳志七段が本を出版されました。

タイトルは、『見て並べて上達！囲碁・プロが選んだ好手好局集』です。

プロの棋譜の中から素晴らしい着手をピックアップして、次の一手問題の様に出题した後に解説するという内容の本になりますが、解説のポイントが絞られて有段者にはもちろん、級位者でも読みやすい本です。

また、この本の一番のポイントは、「棋譜並べに使える」ということです。問題として出题されたポイントまでの手順が、本の末尾に約 50 手区切りで記載されているので、それを見ながら棋譜並べをすることができます。

鶴山七段と同じプロの道を目指すキッカケになる本になるかもしれませんね。



僕も購入しました！（編集者）

■■ お知らせ

第 30 回熊本子ども囲碁交流大会

日 時：7 月 21 日（日）受付 9:10～

場 所：熊本市火の君文化センター

参加費： 無料

申込先：各教室、一般の方は事務局まで

申込期限：7 月 8 日（月）

熊本子ども囲碁研鑽会

日 時：7 月 20 日（土）10:00～12:00

8 月 24 日（土）10:00～12:00

9 月 28 日（土）10:00～12:00

対象：県内在住の小中学生 **5 級以上**

場 所：熊本西囲碁教室

参加費：500 円

申込先：熊本西囲碁教室（板井）090-6779-5250

参加しやすく
なったよ！

第 7 回 R K K 少年少女囲碁将棋大会

日 時：8 月 10 日（土）受付 9:00～

場 所：パレア

参加費：500 円

申込先：各教室、RKK ホームページ（定員あり）

申込期限：7 月 26 日（金）

第 2 回九州のへそ阿蘇囲碁合宿

日 時：8 月 23 日（金）～24（土）

場 所：国立阿蘇青少年交流の家

参加費：2 日間 小学生：3000 円 中学生以上：3500 円

1 日間 小学生：1500 円 中学生以上：1750 円

申込先：ヒカルの碁スクール阿蘇 藤崎幸次郎

メール：igotti1515igo@i.softbank.jp

携帯：090-2712-2428

※お知らせは、ホームページにも公開しているので、ご確認ください。

ホームページでは、本誌およびバックナンバーもカラーで見ることができます。

アクセスは、「熊本子ども囲碁普及会」で検索してください。（URL：<http://www6.plala.or.jp/kumamoto/>）

<編集後記>

大宰府から度々熊本の囲碁大会に参加して下さるご家族がいて、とても嬉しく感じています。大宰府でも毎年「大宰府天満宮子供囲碁大会」という大会が開催されているので、いつか子供と参加したいですね。太宰天満宮は学問の神様として有名ですが、僕のイメージは「梅ヶ枝餅」です。甘いもの＆お茶(珈琲)＆囲碁の相性は最高なのでぜひお試しください。（上村）

■ ■ 会員一覧

主旨に賛同いただき、賛助会員として継続を賜りますようお願い申し上げます。

<法人会員>

井筒屋化学産業（株）・熊本電気鉄道（株）・（株）セーフティガード・ルンビニー幼稚園・
（株）熊本放送 R K K カルチャーセンター・（有）草野企画・広瀬ヴァイオリンスクール・（株）芦田・

<個人会員>

長田幸基・鳥井郁代・吉永茂・桑原五夫・川口雄一・田口信夫・風口英利・徳尾芳道・徳尾幸子・
上野剛彦・奥村拓司・新道哲也・下地明友・下地君代・鶴山繁實・石塚正司・駒崎照雄・松尾孝・
八塚敬子・竹屋純子・河原田隆・田坂照夫・坂田祇彦・江富佑子・毛利秀士・坂口信春・坂口仁寿・
坂田敏昭・定永道明・安田節爾・奥園惣幸・大河内俊子・ジャイルス仁美・志垣裕二・池田篤郎・中拂達・
野崎照・倉田千佳子・寺本博明・藤川雅朗・藤崎幸次郎・宮本典明・瀬口良三郎・福間喜一郎・宮川秀樹・
佐村雄二・西山浩介・西山育子・古家守・鎌田聡・岩本俊雄・安川俊文・松岡俊夫・里見恭輔・
里見慶子・里見知早子・里見亜早子・里見亜衣子・野村英生・副島真一郎・片岡不可止・市来信子・
森俊博・中野昭二・永野昭人・平山博子・重野由紀・磯谷重和・五師功仁（敬称略）

■ ■ 各地の教室・・・（アイウエオ順）

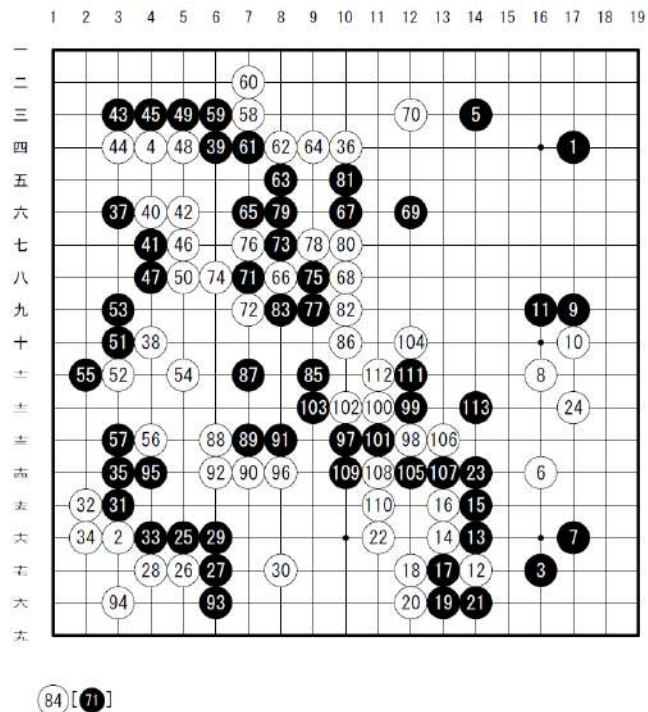
- R K K カルチャーセンター 子ども囲碁講座 （熊本市東区長嶺 096-383-3900）
- 囲碁サロン三連星☆ （熊本市中央区渡鹿 070-5819-8216）
- 一新こども囲碁教室 （熊本市中央区新町 096-352-7639）
- 尾ノ上コミュニティセンターこども教室 （熊本市東区尾ノ上 096-340-8731）
- 上通子ども囲碁教室 （熊本市中央区上林町 1-30 096-288-0005）
- 京塚子ども囲碁教室 （熊本市東区京塚 096-383-5492）
- 熊本母と子の囲碁教室 （熊本市東区下江津 096-370-2263）
- 熊本西囲碁教室 （熊本市西区城山大塘 090-6779-5250）
- おやこ囲碁交流会 （熊本市南区出仲間 080-3376-0407）
- 佐土原子ども教室 （熊本市東区佐土原 096-367-1707）
- 日本棋院玉名支部教室 （玉名市岩崎 0968-74-4968 ）
- 日本棋院人吉球磨支部教室 （人吉市城本町 0966-28-3111）
- ヒカルの碁スクール「阿蘇」 （阿蘇市一の宮町宮地 050-3481-7045）
- 松尾東子ども囲碁教室 （熊本市西区上松尾 096-329-6951）
- 城南こども囲碁教室 （熊本市南区城南町阿高 779-14 0964-27-7505）
- 武蔵ヶ丘コミセン子ども囲碁教室 （菊池郡菊陽町光の森 1 丁目 3517 番地 3 096-232-5697）

■ ■ 棋譜

第 16 回全国小中学校囲碁団体戦熊本県予選 小学生の部決勝

対局日：2019 年 4 月 14 日 結果：黒勝ち

黒番：國松 聡（託麻原小 5 年） 白番：白番 上田健心（東町小 5 年）



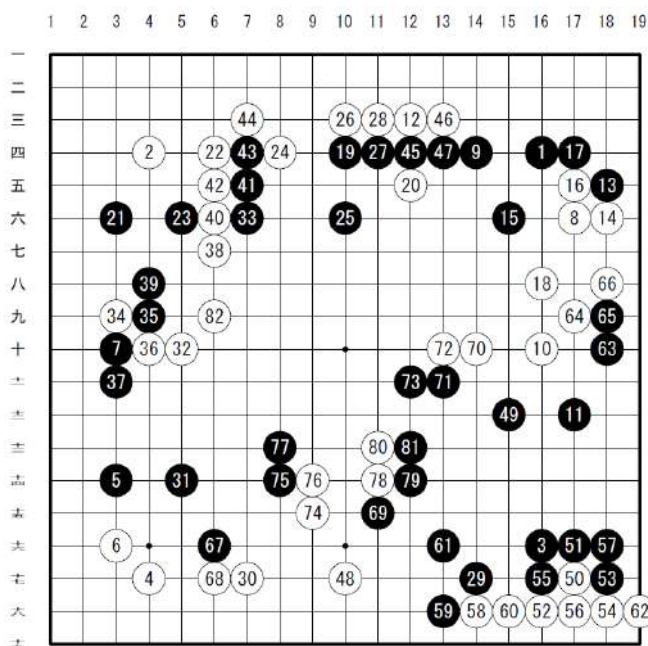
第 16 回小中学校団体戦全国大会熊本県予選小学生の部決勝は、東町小学校と託麻原小学校との争いになった。団体戦は 3 人一組で行われ、いずれか 2 勝した方が勝ちとなるので、チームワークも必要となってくる。その大将戦。白 12 は無理気味で黒 13 とツケられては苦しい。白 16 のオンに対し黒 17 の切りは逸機で白 18 に続いて白 20 では 23 と 2 目の頭をハネれば黒 21 と戻るしかなく、白 107 とツナいで整形することが出来た。その後黒は足早に打ち進めリードを広げるが、上辺の折衝から中央の 3 子を逃げ出したのが打ちすぎで、白 96 では 100 から石を運べば黒もシノギに苦労したかもしれない。白は 98 から白 108 の切りで中央の黒を切り離すが、黒 111 がキキ筋で黒 113 で万事休した。

東町小学校は、大将の上田君は敗れたが、副将、3 将が頑張り県代表となった。

第 16 回全国小中学校囲碁団体戦熊本県予選 中学生の部決勝

対局日：2019 年 4 月 14 日 結果：白勝ち

黒番：本田統子（出水南中 3 年） 白番：白番 廣末直大（帯山中 3 年）



同じく小中学校団体戦全国大会熊本県予選中学生の部決勝は出水南中学校と帯山中学校の戦いとなった。足早に打ち進める白番廣末君に対して黒番の本田さんはあくまで中央志向。黒 33 まで対照的な布石となった。白 34 のツケに対する黒 35 のハネ出しから 37 の引きは手筋だが、白 38 がそれを上回るシノギ筋。白 40 と黒の財産である中央を連絡されては黒が苦しい。黒 37 では 34 の上にアタリを打ち、白は逃げるしかないのだから黒 37 に引いておけば白のシノギは難しかった。その後白は無理をせず慎重に打ち進め、黒に勝機を与えなかった。

名誉肥後本因坊 内田直也（NOP 法人熊本子ども囲碁普及会監事）